2026・11・3【、干柿】選26句

t-01

柿干すや目鼻かそけき赤ん坊
柿簾一段外す食後かな
干柿に遠き西日となりにけり
干柿に再び皮の如きもの
干柿に西日は遠く離れ行く
干柿に憧れてゐる熟柿かな
干柿の如き赤子でありしこと
干柿は星が綺麗な夜に干す
干柿を吊す日当り風当り
串に刺す団子の如き吊し柿
星空に干されて柿の赤裸
吊し柿まだ生柿といふ朱さ
粉を吹いて来れば霜柿とも呼ばれ
本堂に仏の柿を吊り連ね
明るくてまだ食べられぬ吊し柿
古釘に柿の裸を吊しけり
干柿は軒に熟柿は枝にかな
干柿に少し離れて唐辛子
吊柿の連なるままを送りくれし
古家の縁側長し吊し柿
風に吹かれ日に舐められて吊し柿
吊し柿日々に色濃く縮むなり
干柿に軒を貸したる母屋かな
柿の朱は木より軒へと移りけり
渋柿の皮も近くに干されある
渋柿の一皮剥けて吊られある

12行3段組14ポ 2026年11月3日 04:49 〈1〉 桐10

2026・11・3【全然堂歳時記 秋 【干柿】 t-02 全67句】 選20句

一渋柿の一皮剥けて吊られある
一古釘に柿の裸を吊しけり
一串に刺す団子の如き吊し柿
一渋柿の皮も近くに干されある
一干柿に今日の日当り風当り
一干柿を照らす西日の遠日かな
一明るくてまだ食べられぬ吊し柿
一吊し柿まだ生柿といふ朱さ
一柿干せば日々に色濃く縮むなり
一干柿に再び皮の如きもの
一粉を吹いて来れば霜柿とも呼ばれ
一干柿は軒に熟柿は枝にかな
一干柿に軒を貸したる母屋かな
一古家の縁側長し吊し柿
一柿簾一段外す食後かな
一干柿に少し離れて唐辛子
一星空に干されて柿の赤裸
一干柿はほしがきれいな夜に干す
一吊柿の連なるままを送りくれし
一干柿の如き赤子でありしこと

2026・11・4【干柿】t-03 選20句

一柿を捥ぎ剥いて繋げて干しにけり
一渋柿の一皮剥けて干されある
一古釘に柿の裸を吊しけり
一串刺しの団子の如く柿を干す
一渋柿の皮も近くに干されある
一干柿に今日の日当り風当り
一干柿や遠き西日に照らされて
一吊し柿まだ生柿といふ硬さ
一柿干せば日々に色濃く縮むなり
一干柿に再び皮の如きもの
一粉を吹いて来れば霜柿とも呼ばれ
一干柿は軒に熟柿は枝にかな
一干柿に軒を貸したる母屋かな
一古家の縁側長し吊し柿
一縁側の積木ままごと吊し柿
一柿簾一段外す食後かな
一干柿に少し離れて唐辛子
一星空に干されて柿の赤裸
一干柿はほしがきれいな夜に干す
一吊し柿の連なるままを送りくれし

12行3段組14ポ 2026年11月4日 18:56 〈1〉 桐10